

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第1号を送付します。

平成 30 年度病虫害発生予察注意報第1号

平成 30 年 5 月 2 日
高知県病虫害防除所長

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)

- 1 対象作物 果樹全般(ウメ、モモ、スモモ、ナシ、カキ、カンキツ類)
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 5月上旬以降
- 4 発生程度 多
- 5 注意報発令の根拠
 - (1) 県内4地点における4月の果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査では、県東部、中央部、中西部で多めの発生が見られている(表1)。また、県全体の誘殺数は、過去10年間で平成26年に次ぐ2番目の多さである(表2)。
 - (2) 平成30年4月26日発表の四国地方1ヶ月予報では、5月の気温は高いと予想されているため、越冬成虫の活動が活発となり、果樹園へ飛来、加害するおそれがある。
- 6 防除対策
 - (1) 果樹カメムシ類の飛来量・時期は園地による差が大きいですが、花、幼果を吸汁されると落果するので発生を確認したら早めに防除する。
 - (2) 今後、気温の上昇に伴い活動が活発となり、チャバネアオカメムシなどが果樹園(ウメ・モモ・スモモ・ナシ・カキ・カンキツ等)に多く飛来する可能性があるため、園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努める。

(3) 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病害虫防除所のホームページ (<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>)に掲載しているため、果樹園での発生の参考にす。防除等は県防除指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守する。

7 他県の状況

5月1日現在、静岡県、愛知県、愛媛県で注意報が発令されている。

表1 フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数（平成30年4月）

		1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	計
東部	H30	2	3	2	1	1	2	11
	平年値	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.9	1.7
中央部	H30	1	1	0	2	3	3	10
	平年値	0.3	0.5	0.7	0.9	2.3	2.2	6.9
中西部	H30	18	14	14	20	32	49	147
	平年値	0.5	1.2	5.4	5.8	6.0	16.1	35.0
西部	H30	1	1	0	1	1	1	5
	平年値	1.7	1.5	2.4	9.5	5.1	8.1	28.3
県全体	H30	22	19	16	24	37	55	173
	平年値	2.5	3.3	8.7	16.4	13.7	27.3	71.9

東部：安芸市井ノ口、中央部：香美市土佐山田町、中西部：須崎市浦の内、西部：四万十市山路
誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤオアカメムシの合計

表2 過去10年間の4月におけるフェロモントラップ誘殺数（県全体）

月	半旬	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	平年値
4月	1	0	0	0	1	0	16	2	4	2	0	22	3
	2	6	0	0	0	0	13	3	6	5	0	19	4
	3	10	3	5	4	6	12	24	12	9	1	16	9
	4	1	47	7	4	10	34	31	18	8	4	24	18
	5	6	4	5	2	25	26	49	8	5	6	37	20
	6	40	7	15	10	54	19	75	9	29	15	55	27
計		63	61	32	21	95	120	184	57	58	26	173	81

誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤオアカメムシの合計